

令和 4 年度 第1号補正予算 主要な事業の説明書

(一般会計)

令和4年 第1回 嬉野市議会定例会提出

令和4年度 第1号補正予算 主要な事業の説明書 目次

様式1

(1) 一般会計

総務・防災課	1	～	2
企画政策課	3	～	12
広報・広聴課	13	～	14
文化・スポーツ振興課	15	～	16
健康づくり課	17	～	18
福祉課	19	～	21
子育て未来課	22	～	28
農業政策課	29	～	34
観光商工課	35	～	47
茶業振興課	48	～	51
建設課	52	～	56
新幹線・まちづくり課	57	～	59
農林整備課	60	～	61
教育総務課/学校教育課(教育委員会事務局)	62	～	68

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 9 消防費	項 1 消防費	目 3 消防施設費	事業名	消防施設整備事業					
総合計画による位置づけ		基本方針	助け合う安全・安心のまちづくり		政策分野	①消防・防災				
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	総務・防災課	予算書ページ	27	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

消防施設を整備改修することにより、火災、水害への備えを充実し、消防団による消火活動の充実を目指す。

2. 事業内容

有蓋防火水槽設置、消火栓設置・改修、救命ボート配備、小型動力ポンプ更新。

3. 全体計画		事業期間	令和元年度	～	令和4年度	事業費(千円)	98,054
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容		防火水槽整備、消防積載車・ポンプ更新、消火栓整備	防火水槽整備、消防積載車・ポンプ更新、消火栓整備	防火水槽整備、消防積載車・ポンプ更新、消火栓整備	防火水槽整備、消防積載車・ポンプ更新、消火栓整備		
事業費(単位:千円)		補助率	22,696	21,837	19,735	33,786	
財源内訳	国庫支出金	1/3				330	
	県支出金						
	市債	100%	20,800	20,100	16,800	27,100	
	ふるさと応援寄附金						
その他							
一般財源			1,896	1,737	2,935	6,356	

4. 本年度の事業費内訳

内 容		予算額(単位:千円)	
		補助	単独
工事請負費	【今回追加補正】防火水槽 2基(下吉田、下岩屋)		18,000
備品購入費	【今回追加補正】消防小型動力ポンプ 4台(1-4.2-4.4-2.7-6)		9,196
	【今回追加補正】災害用救命ゴムボート一式 3艇	990	
負担金、補助及び交付金	消火栓新設1基(水道企業団へ)		1,400
	【今回追加補正】改修3基(水道企業団へ)		4,200
計		990	32,796

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	1,400千円
1号追加補正事業費	32,386千円
(補正財源内訳) 国庫支出金	330千円
市債	27,100千円
一般財源	4,956千円
補正後事業費	33,786千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	9 消防費	項	1 消防費	目	5 災害対策費	事業名	災害ネットシステム導入			
総合計画による位置づけ			基本方針			助け合う安全・安心のまちづくり		政策分野	①消防・防災		
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	総務・防災課		予算書ページ	27	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

インターネットを利用した災害情報のシステムを導入し、避難所情報、被災箇所等の情報を各々入力し、一元的に管理することで、膨大な情報の共有化を図り、取りまとめや資料作成を容易に行うことができる。

2. 事業内容

インターネットアプリを使用したシステムの構築と、システムによる災害情報の管理、利活用を図る。

3. 全体計画		事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	2,365
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容					災害ネットシステム導入
事業費(単位:千円)		補助率			2,365
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他				
一般財源					2,365

4. 本年度の事業費内訳

内 容		予算額(単位:千円)	
		補助	単独
委託料	災害ネットシステム導入		1,045
使用料及び賃借料	災害ネットサービス使用料		1,320
	計		2,365

5. その他参考となる事項

※災害ネットシステムは、収集した情報を時系列で記録する手法「クロノロジー」をシステム化し、情報共有、記録、管理を時系列で集約することで、とりまとめのしやすいものを想定している。

- ・システム導入費用 1,045,000円
- ・サービス使用料 100,000円×12月×1.1=1,320,000円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	移住促進事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり		政策分野	③住まい		
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	13	新規	継続	○	

1. 事業の目的・効果

移住促進による人口増加を目的とし、活気と歓声に満ちた地域社会の構築へ繋げていく。

2. 事業内容

東京、大阪、福岡やオンラインで開催される移住促進フェアに出展する。また、空き家バンク利用・リモートワーク移住・農業ターの移住者に対し、条件により記念品を贈呈する。

3. 全体計画		事業期間	令和元年度	～	令和4年度	事業費(千円)	4,397
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容		移住フェアへの出展	移住者への記念品贈呈、移住フェアへの出展	移住者への記念品贈呈、移住フェアへの出展	移住者への記念品贈呈、移住フェアへの出展		
事業費(単位:千円)		補助率	320	619	1,368	2,090	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金						
	その他						
一般財源			320	619	1,368	2,090	

4. 本年度の事業費内訳

内 容		予算額(単位:千円)	
		補助	単独
報償費	移住者への記念品贈呈		1,406
普通旅費	東京、大阪、福岡での移住フェア時の旅費		127
	【今回追加補正】 127,000円		127
委託料	移住フェアで仕様する移住促進グッズの作成委託料		1
	【今回追加補正】 99,000円		99
使用料および賃借料	移住フェアの出展料		1
	【今回追加補正】 329,000円		329
計			2,090

5. その他参考となる事項

- ・県外からの移住者で空き家バンクを利用して転入した者に、シーボルトの湯年間パスポート3年分、嬉野産米1俵、肥前吉田焼、嬉野茶を送る。
- ・県外の事業所に所属したまま、嬉野市に転入しリモートワークする者に湯遊嬉野チケットを送る。
- ・市外よりの転入者で農業ター応援金に該当する者に、シーボルトの湯年間パスポート1年分を送る。
- ・旅費:東京・大阪・福岡での移住フェア参加時旅費。(政策的予算により今回追加補正)
- ・委託料:移住フェア時のPRグッズ作成委託料。(政策的予算により今回追加補正)
- ・使用料および賃借料:移住フェア時の出展料。(政策的予算により今回追加補正)

当初予算事業費	1,535千円
補正事業費	555千円
(補正財源内訳) 一般財源	555千円
補正後事業費	2,090千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	総合計画				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野	④行政計画			
実施主体	市		所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	13	新規	継続	○	

1. 事業の目的・効果

第2次嬉野市総合計画後期計画を策定し、冊子を作成することで政策の浸透を図り、活気と歓声が満ちた地域社会の構築へ繋げていく。

2. 事業内容

第2次嬉野市総合計画後期計画を策定する。また冊子制作をデザインを含め作成委託し、関係各所に配布する。

3. 全体計画		事業期間	令和元年度	～	令和4年度	事業費(千円)	4,235
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容		委員報酬等	委員報酬等	委員報酬等、後期計画策定支援	委員報酬等、計画書作成		
事業費(単位:千円)	補助率	18	23	1,946	2,248		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金						
	その他						
一般財源		18	23	1,946	2,248		

4. 本年度の事業費内訳

内 容	予算額(単位:千円)	
	補助	単独
報酬	総合計画審議委員報酬 5,700円×10人×4回	228
旅費	総合計画審議委員旅費(費用弁償) 5,000円×4回 【今回追加補正】 2,000,000円	20
委託料	総合計画書作成・印刷・製本業務委託	2,000
計		
		2,248

5. その他参考となる事項

第2次嬉野市総合計画後期計画書については、6月議会で承認後、冊子のデザインを含め印刷・製本業務を委託し、関係各所に配布する。(政策的予算により今回追加補正)

当初予算事業費	248千円
補正事業費	2,000千円
(補正財源内訳) 一般財源	2,000千円
補正後事業費	2,248千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	移住促進応援事業			
総合計画による位置づけ		基本方針	自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野	③住まい			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	13	新規	継続	○	

1. 事業の目的・効果

移住促進による人口増加を目的とし、活気と歓声に満ちた地域社会の構築へ繋げていく。

2. 事業内容

移住促進応援金の交付を行う。①18歳未満の子がいる世帯の転入時の引っ越し費用を対象に応援金を交付する。②18歳未満の子がいる世帯の転入時に応援金を交付する。③市内に居住したことがなく、市内に祖父母を有する孫の転入時に応援金を交付する。④市内に妻の父母がおり、市内に居住したことがなく結婚5年以内の夫が転入した場合に応援金を交付する。⑤市内に居住したことがない50歳未満の単身女性が転入した場合に応援金を交付する。⑥3年以上市外に居住する者が転入から2年以内に起業した場合に応援金を交付する。⑦3年以上市外に居住し市内に住宅を有しない者が転入から1年以内に住宅を取得した場合に応援金を交付する。⑧県外の事業所に勤務している者が、その事業所に所属したまま移住を目的として転入しリモートワークを行う場合に応援金を交付する。⑨就農の為、転入した場合に応援金を交付する。

3. 全体計画		事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	91,551
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容		移住促進応援金	移住促進応援金	移住促進応援金	
事業費(単位:千円)	補助率	22,771	35,000	33,780	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄付金	20,000	30,000	32,000	
	その他				
一般財源		2,771	5,000	1,780	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金、補助及び交付金	移住促進応援金		15,840
	【今回追加補正】 17,940,000円		17,940
計			33,780

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ。(政策的予算により今回追加補正)

当初予算事業費	15,840千円
補正事業費	17,940千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄付金	17,000千円
一般財源	940千円
補正後事業費	33,780千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	地域おこし協力隊・お試し移住・お試しサテライトオフィス					
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野			③住まい	
実施主体		市	所属部		総合戦略推進部	所属課		企画政策課	予算書ページ	13	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

嬉野市での暮らしの情報や暮らしの体験を通して、実感を持ってもらうことで移住に対するハードルを下げ、移住者の増加を図ることを目的とする。

2. 事業内容

地域おこし協力隊により、外部からの視点を取り入れた移住者目線での移住施策(お試し移住施設、お試しサテライトオフィス、移住全般)を推進し、移住や2拠点居住・サテライトオフィスの設置などを考えている方向けに、嬉野市での暮らしの情報提供や暮らしの体験の提供を行う。

3. 全体計画		事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	15,693
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容			地域おこし協力隊募集	協力隊雇用、お試し施設運営	協力隊雇用、お試し施設運営
事業費(単位:千円)		補助率	1,648	7,501	6,544
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他				
一般財源			1,648	7,501	6,544

4. 本年度の事業費内訳

内 容		予算額(単位:千円)	
		補助	単独
報酬	隊員報酬		2,701
職員手当	隊員期末・移転・住宅手当		997
共済費	隊員社会保険等		629
旅費	隊員活動旅費		449
需用費、備品購入費	消耗品(インク、紙等)、隊員用車両燃料		150
役務費	データ通信費、車両共済費		74
委託料	隊員フォロー委託		600
使用料および賃借料	隊員用車賃借料、施設賃借費		584
負担金、補助及び交付金	隊員研修時負担金、お試しサテライトオフィス利用企業旅費補助		230
	【今回追加補正】 130,000円		130
計			6,544

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ。(政策的予算により今回追加補正)

当初予算事業費	6,414千円
補正事業費	130千円
(補正財源内訳)	
一般財源	130千円
補正後事業費	6,544千円

【様式1】 **令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書**

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	地方創生移住支援金				
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野	③住まい		
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	13	新規		継続	○	

1. 事業の目的・効果

移住支援金の支給により移住を促進し、人口増による活気と歓声に満ちた地域社会を築くことを目的とする。

2. 事業内容

国の地方創生施策である移住支援金事業に加え、佐賀県の独自拡充メニューである「さが暮らし支援事業」により移住支援金を支給する。

3. 全体計画	事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	6,900
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容		地方創生移住支援金	地方創生移住支援金	地方創生移住支援金
事業費(単位:千円)	補助率	1,000	1,000	4,900
財 源 内 訳	国庫支出金			
	県支出金	750	750	3,675
	市債			
	ふるさと応援寄附金			
	その他			
	一般財源	250	250	1,225

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内 容	補助	単独
負担金、補助及び交付金	地方創生移住支援金	1,000
	【今回追加補正】 3,900,000円	3,900
計	4,900	

5. その他参考となる事項

- ・東京23区勤務で一定期間以上東京圏に住んでいる者が、人手不足企業への就職やテレワーク等で移住した場合支援金を支給する。
 - ・国の政策拡充により子ども1人につき30万円が加算される。
300千円×3人=900千円(政策的予算により今回追加補正)
 - ・県の政策拡充により他県からの、人手不足企業への就職・農林水産業・事業承継・スポーツ振興・空き家活用・伝統工芸継承での移住において単身60万円世帯100万円を支給する。
1,000千円×3世帯=3,000千円(政策的予算により今回追加補正)
- | | |
|---------------|---------|
| 当初予算事業費 | 1,000千円 |
| 補正事業費 | 3,900千円 |
| (補正財源内訳) 県支出金 | 2,925千円 |
| 一般財源 | 975千円 |
| 補正後事業費 | 4,900千円 |

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 地域振興事業費	事業名	ひとにやさしいまちづくり			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	④観光業			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	13	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

ユニバーサルデザインおよびバリアフリーを基本の考えとする「人にやさしいまち宣言」の趣旨に基づき、市民や市を訪れるすべての人が安全・安心に社会生活や観光を楽しむことができる「ひとにやさしいまち」を目指して市民、事業者、行政が協力・連携しながらハード・ソフト両面の整備に取り組む。

2. 事業内容

- ①ひとにやさしいまちづくり各種事業の推進
- ②バリアフリーツアーセンターが実施するバリアの調査・分析・情報提供・相談業務・イベント実施への活動支援

3. 全体計画		事業期間	令和元年度	～	令和4年度	事業費(千円)	21,390
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容		ユニバーサルデザイン等関連各種事業の実施	ユニバーサルデザイン等関連各種事業の実施	ユニバーサルデザイン等関連各種事業の実施	ユニバーサルデザイン等関連各種事業の実施		
事業費(単位:千円)		補助率	3,300	6,077	6,027	5,986	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金		5,500	5,500	5,200		
	その他						
一般財源			3,300	577	527	786	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
報酬	ひとにやさしいまちづくり推進協議会委員報酬(委員11人のうち民間委員7人の1回分)		40
旅費	先進地視察・担当省庁協議【移動円滑化事業事前調査】		9
役員費	電動車いす保険料1台分		27
委託料	第2次UDおもてなし体制整備事業 1千円 【今回追加補正】 3,309,000円		1 3,309
負担金、補助金及び交付金	バリアフリーツアーセンター運営費補助金		2,600
計			5,986

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	2,677千円
補正事業費	3,309千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄附金	4,000千円
一般財源	-691千円
補正後事業費	5,986千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 地域振興事業費	事業名	結婚支援推進			
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり			政策分野	②男女共同参画			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	13	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

全国的に年々未婚率が増加し、晩婚化の傾向が顕著であることが社会問題となっている中、結婚を希望する独身男女に交際のきっかけとなる出会いの場を提供することにより人生の良きパートナーにめぐり会い、結婚してもらうことで未婚率の減少や晩婚化の抑制などの少子化対策に繋がり、将来的には地域がより活性化していくことを目指す。また、経済的理由で結婚に踏みきれない独身者の結婚実現のため、結婚新生活を支援する。

2. 事業内容

結婚を希望する独身男女の支援をするため、男女の出会いの場としてのイベントや、講師によるコミュニケーション能力アップ・身だしなみ等、自分を磨くセミナーを開催する。また、結婚の手助けをする相談員・サポーターに対し研修を実施する。さらに、結婚に伴う経済的負担を軽減し、結婚しやすい環境づくりを推進するため、新規に婚姻した低所得者の新婚世帯に対し、住宅取得費用、住宅賃借費用、引越費用の一部を助成する。

3. 全体計画		事業期間	令和元年度	～	令和4年度	事業費(千円)	18,025
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容		結婚支援推進	結婚支援推進	結婚支援推進	結婚支援推進		
事業費(単位:千円)	補助率	2,883	5,915	6,104	3,123		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金	1/2	265	1,800	1,500	750	
	市債						
	ふるさと応援寄付金			2,500	1,800	1,000	
	その他						
一般財源		2,618	1,615	2,804	1,373		

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
報償費	結婚支援相談員1人 154千円 結婚支援サポーター7人 252千円		406
旅費	普通旅費(職員1人) 1,700円×1.3×1人×1回=2,210円		6
	費用弁償(相談員1人) 1,700円×1.3×1人×1回=2,210円		
需用費	消耗品費(事務用品)		5
役員費	傷害保険料(相談員1人・サポーター7人) 5,840円		6
委託料	結婚支援推進事業 1,000円		1
	【今回追加補正】 1,199,000円		1,199
負担金、補助及び交付金	(補助金)結婚新生活支援事業 750千円	750	
	【今回追加補正】 750,000円	750	
計		1,500	1,623

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	1,174千円
補正事業費	1,949千円
(補正財源内訳) 県支出金	375千円
ふるさと応援寄付金	1,000千円
一般財源	574千円
補正後事業費	3,123千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 男女共同参画事業費	事業名	男女共同参画事業		
総合計画による位置づけ		基本方針	みんなで創る自発のまちづくり				政策分野	②男女共同参画		
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	14	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

誰もが互いにその人権を尊重しながら責任も分かち合い、性別等に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

2. 事業内容

第3次嬉野市男女共同参画行動計画(2018～2022)に基づき各種事業及び啓発活動を実施するとともに、その実施状況について検証する。
令和4年度は、第4次行動計画(2023～2027)の策定に向けて、審議会等に諮り、計画を策定する。

3. 全体計画		事業期間	令和元年度	～	令和4年度	事業費(千円)	11,729
実施年度	事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	男女共同参画事業	男女共同参画事業	男女共同参画事業	男女共同参画事業	男女共同参画事業		
事業費(単位:千円)	補助率	5,243	187	2,422	3,877		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄付金				2,500		
	その他						
一般財源		5,243	187	2,422	1,377		

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)		
内	容	補助	単独	
報酬	男女共同参画審議会委員(委員15人×5,700円×6回)		513	
需用費	消耗品費(事務用品)		10	
役務費	通信運搬費(審議会委員通知 120円×15人×12回)		22	
委託料	男女共同参画啓発事業		332	
	男女共同参画行動計画書作成委託			
	【今回追加補正】 3,000,000円		3,000	
計				3,877

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	877千円
補正事業費	3,000千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄付金	2,500千円
一般財源	500千円
補正後事業費	3,877千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	14 コミュニティセンター費	事業名	コミュニティセンター運営費				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり			政策分野	③住民自治・住民参画				
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	14	新規		継続	○	

1. 事業の目的・効果

地域の子どもからお年寄りまで世代間の交流を促進する場を提供するとともに、文芸・絵画などの作品等を展示することにより、地域コミュニティの活性化と地域福祉の増進に寄与する。建設後17年が経過し、老朽化が進み、職員の対応頻度などの状況を踏まえ、今年度より指定管理制度の導入により、効果的・効率的な施設管理を実施し、市民サービスの向上と経費削減を図る。

2. 事業内容

- ・嬉野市コミュニティセンター(楠風館)の運営、施設管理
- ・芸術、文化、スポーツ、学習、健康づくり等、幅広い交流・研修の場の提供。
- ・文芸、絵画などの作品等展示。
- ・指定管理による自主事業の実施により、愛着を持って運営することによりこれまで以上の利用者呼び込み市民全員が親しみを持って利用できる施設にする。

3. 全体計画		事業期間	令和元年度 ~ 令和4年度		事業費(千円)	72,003
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容		コミュニティセンター運営管理	コミュニティセンター運営管理	コミュニティセンター運営管理	コミュニティセンター運営管理	
事業費(単位:千円)		補助率	18,599	14,923	23,687	14,794
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄付金		2,000	10,000	1,000	
	その他(地域づくり基金)	2,532	2,550	2,532	10,016	
一般財源			16,067	10,373	11,155	3,778

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
需用費	修繕料900千円		900
役務費	保険料135千円		135
委託料	指定管理委託料 11,500千円		12,059
	建築基準点検 559千円		
工事請負費	給湯器取替工事		
	【今回追加補正】 1,600,000円		1,600
備品購入費	テレビ購入		100
計			14,794

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	13,194千円
補正事業費	1,600千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄付金	1,000千円
一般財源	600千円
補正後事業費	14,794千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企業誘致費	事業名	企業誘致奨励金				
総合計画による位置づけ			基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	③商工業			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	広報・広聴課		予算書ページ	13	新規	継続	○	

1. 事業の目的・効果

企業を誘致し、市内に事業所を立地することを奨励して産業の振興、雇用の増大及び定住の促進を図ることを目的とする。

2. 事業内容

奨励措置の内容(嬉野市企業等誘致条例第3条)

- (1)固定資産税の課税免除 (2)立地奨励金の交付 (3)雇用奨励金の交付 (4)用地取得奨励金の交付 (5)上水道使用奨励金の交付 (6)設備費補助金の交付 (7)研修費補助金の交付 (8)建物賃料補助金の交付

3. 全体計画		事業期間		令和元年度 ~ 令和4年度		事業費(千円)		60,261	
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	奨励金の交付		奨励金の交付	
事業内容						奨励金の交付		奨励金の交付	
事業費(単位:千円)		補助率	7,522	4,712	12,360	35,667			
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	市債								
	ふるさと応援寄付金			10,000	34,000				
	その他								
一般財源			7,522	4,712	2,360	1,667			

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内容		補助	単独
負担金、補助及び交付金 (奨励金交付対象企業 4企業)			
立地奨励金、雇用奨励金、設備費補助金、研修費補助金、建物賃料補助金			17,834
【今回追加補正】4企業 17,833,000円			17,833
計			35,667

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	17,834千円
3月補正事業費	17,833千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄付金	17,000千円
一般財源	833千円
補正後事業費	35,667千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費	事業名	夢スポーツ支援事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	④スポーツ			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	予算書ページ	32	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

市民が「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で積極的にスポーツに参画し、スポーツを楽しみ、喜びを得ることで、それぞれの人生を生き生きとしたものとするとともに、スポーツを通じた健康増進、共生社会の実現や経済・地域の活性化など、スポーツを通じた活力ある社会づくりに取り組むことを目的とする。また、市民の成熟した文化としてスポーツを一層根付かせ豊かな未来を創ること、スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、市民が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある絆の強い社会を創ることを目的とする。

2. 事業内容

日本のトップアスリートを講師とし、講師自らの体験談を交えたワークショップ「JFAこころのプロジェクト 夢の教室」を市内全小学5年生を対象に実施する。

3. 全体計画		事業期間	令和元年度	～	令和4年度	事業費(千円)	4,940
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容		夢スポーツ支援事業	夢スポーツ支援事業	夢スポーツ支援事業	夢スポーツ支援事業		
事業費(単位:千円)	補助率	1,389	531	1,500	1,520		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金	1,389	500	500	1,000		
	その他						
	一般財源		31	500	520		

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
需用費	消耗品費(事務用品)		20
委託料	JFAこころのプロジェクト 夢の教室実施業務		1,500
	計		1,520

5. その他参考となる事項

令和2年度及び令和3年度については、オンライン授業による実施。令和4年度未定。

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費	事業名	サガン鳥栖交流事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	④スポーツ			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	予算書ページ	32	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

市民が「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で積極的にスポーツに参画し、スポーツを楽しみ、喜びを得ることで、それぞれの人生を生き生きとしたものとするとともに、スポーツを通じた健康増進、共生社会の実現や経済・地域の活性化など、スポーツを通じた活力ある社会づくりに取り組むことを目的とする。また、市民の成熟した文化としてスポーツを一層根付かせ豊かな未来を創ること、スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、市民が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある絆の強い社会を創ることを目的とする。

2. 事業内容

プロサッカーチーム「サガン鳥栖」のホームゲームにおいて当市が冠スポンサーとなり、「サガン鳥栖」が持つプロスポーツの魅力を活用したまちづくり(スポーツをする、みる、かかわる)を目的とした市民参加型のイベントを実施する。プロサッカー選手のプレーを観戦することで子どもたちの夢を育むとともに、イベント運営に関わるスポーツサポーターの育成を図ることによりスポーツに関わること、及びスポーツによる感動を味わうことの機会を創出する。

3. 全体計画		事業期間	令和元年度	～	令和4年度	事業費(千円)	16,796
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容		サガン鳥栖交流事業	サガン鳥栖交流事業	サガン鳥栖交流事業	サガン鳥栖交流事業		
事業費(単位:千円)	補助率	3,428	5,088	4,538	3,742		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金		4,500	3,300	3,000		
	その他						
	一般財源	3,428	588	1,238	742		

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
報償費	特別賞 賞品		30
需用費	消耗品費(イベント用品)		20
役務費	手数料(法被・のぼり旗クリーニング代)		15
委託料	ゲームスポンサー		3,300
	盛り上げイベント業務		200
使用料及び賃借料	バス借上料(2台)等		177
	計		3,742

5. その他参考となる事項

--

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費	事業名	ここにやさしいAED購入費補助事業(保健衛生総務管理費)			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	⑤健康・医療			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	予算書ページ	17	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

AED(自動体外式除細動器)は心停止状態に陥った人の身近な救命器具として設置の拡大が必要とされている。そのため、不特定多数が利用する特定施設が設置する場合の購入費の一部を補助することにより設置の促進を図り、市民の安全安心に寄与する。

2. 事業内容

【対象施設】宿泊施設、自治公民館、福祉施設、幼稚園、その他市長が設置を必要と認める施設
 【補助率】購入費の1/2以内
 【補助限度額】・AED本体(1セット) 155,000円
 ・AED消耗品のみ(除細動パッド(2組以内)大人用 5,000円、子ども用 10,000円 ・バッテリー(1個) 20,000円)

3. 全体計画		事業期間 令和元年度 ~ 令和4年度				事業費(千円)	1,262
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容	AED購入費に対する補助	AED購入費に対する補助	AED購入費に対する補助	AED購入費に対する補助	AED購入費に対する補助		
事業費(単位:千円)	補助率	458	184	310	310		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金					200	
	一般財源	458	184	310	110		

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内容		補助	単独
	負担金,補助及び交付金(補助金)	AED本体 155,000円×1セット=155,000円	155
【今回補正額】			
	負担金,補助及び交付金(補助金)	AED本体 155,000円×1セット=155,000円	155
計			310

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	155千円
3月補正事業費	155千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄附金	200千円
一般財源	△45千円
補正後事業費	310千円
◎AED本体 155,000円 × 2セット = 310,000円	

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 予防費	事業名	任意予防接種事業(子どもインフルエンザワクチン接種費用軽減事業)					
総合計画による位置づけ			基本方針			ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野			⑤健康・医療	
実施主体		市	所属部		市民福祉部	所属課		健康づくり課	予算書ページ	17	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

任意の予防接種である子どもインフルエンザワクチンの接種費用の一部を助成することで接種の普及を図り、インフルエンザの感染防止と症状の軽減を目的とする。

2. 事業内容

《接種対象者》 0歳～18歳(高校3年生)

《助成額》 1回につき 1,000円 ※医療機関と委託契約し、接種費用のうち、交付要綱に基づく金額(1,000円)を委託料として医療機関へ支払う。

《助成回数》 2回(13歳以上は1回)

3. 全体計画		事業期間	令和 元 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	15,537	
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容		任意予防接種	任意予防接種	任意予防接種	任意予防接種	
事業費(単位:千円)		補助率	2,149	5,138	5,500	2,750
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金		2,000	2,000	1,300	
	地方創生臨時交付金		2,500	1,000		
一般財源			2,149	638	2,500	1,450

4. 本年度の事業費内訳

内 容		予算額(単位:千円)	
		補助	単独
委託料	1回目接種分 1,000円×1,375人×1回= 1,375,000円		1,375
【今回追加補正額】			
委託料	2回目接種分 1,000円×1,375人×1回= 1,375,000円		1,375
計			2,750

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	1,375千円
3月補正事業費	1,375千円
(補正財源内訳)	
一般財源	1,375千円
補正後事業費	2,750千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	事業名	戦没者慰霊塔建設事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	④地域福祉・生活福祉			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	15	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

嬉野町出身の戦没者等を安置し、戦争の悲惨さと、戦没者等の尊い命の上に築かれた今日の平和の重みを永く後世に伝えること。

2. 事業内容

公会堂の解体に伴い、敷地内にある戦没者慰霊塔を解体し、新たに建設を行う。

3. 全体計画		事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	18,030
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容					戦没者慰霊塔建設事業
事業費(単位:千円)		補助率		1,697	18,030
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				17,000
	その他				
一般財源			1,697	1,030	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
役務費	確認申請手数料 13,000円、完了検査手数料 17,000円		30
委託料	戦没者慰霊塔設計監理委託一式 1,000円 【今回補正額】 865,000円		1 865
工事請負費	戦没者慰霊塔本体建設一式 1,000円 【今回補正額】 戦没者慰霊塔解体一式 1,265,000円 戦没者慰霊塔本体建設一式 15,868,000円		1 17,133
計			18,030

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	32 千円
3月(1号)補正事業費	17,998 千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄附金	17,000 千円
一般財源	998 千円
補正後事業費	18,030 千円

【様式1】 令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	障がい施設職員就職支援事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			ともに支え笑顔あふれるまちづくり		政策分野	③障がい者		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	15	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

市内の障がい者施設等に介護職員等として新たに就職した者に対して補助金を交付することで、職員不足を解消し、安定したサービスを提供できるようにする。

2. 事業内容

市内の障がい者施設等に介護職員等として新たに就職した者に対して補助金を交付する。
 対象者:新たに市内の障がい者施設に就職し、2年以上継続する見込みのある者
 補助金額・・・(市内に住所を有する者) 常勤職員で転入者 20万円・常勤職員で転入者以外 10万円・非常勤職員で転入者 10万円・非常勤職員で転入者以外 5万円
 (市外に住所を有する者) 常勤職員で有資格者 10万円・非常勤職員で有資格者 5万円・常勤職員で無資格者 5万円・非常勤職員で無資格者 25千円
 (資格取得) 10万円を上限としてかかった経費とする(一人1回限り)

3. 全体計画	事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	1,800
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容			市内障がい者施設等に新たに就職した者に補助金を交付する	市内障がい者施設等に新たに就職した者に補助金を交付する
事業費(単位:千円)	補助率		900	900
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	ふるさと応援寄附金			
	その他			
一般財源			900	900

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内 容	補助	単独
負担金、補助金及び交付金 (市内に住所を有する者) 常勤職員で転入者 20万円×1名		200
常勤職員で転入者以外 10万円×1名		100
非常勤職員で転入者 10万円×0名		0
【今回追加補正】10万円×1名		100
非常勤職員で転入者以外 5万円×0名		0
【今回追加補正】5万円×1名		50
(市外に住所を有する者) 常勤職員で有資格者 10万円×0名		0
【今回追加補正】10万円×1名		100
常勤職員で無資格者 5万円×1名		50
非常勤職員で有資格者 5万円×0名		0
【今回追加補正】5万円×1名		50
非常勤職員で無資格者 2.5万円×0名		0
【今回追加補正】2.5万円×2名		50
資格取得 10万円を上限とする1名		100
【今回追加補正】10万円×1名		100
		0
		0
計		900

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	450 千円
3月(1号)補正事業費	450 千円
(補正財源内訳)	
一般財源	450 千円
補正後事業費	900 千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業名	介護施設職員就職支援事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			ともに支え笑顔あふれるまちづくり		政策分野	②高齢者		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	15	新規	継続	○	

1. 事業の目的・効果

市内の介護施設等に介護職員として新たに就職した者に対して補助金を交付することで、介護施設の職員不足を解消し、安定したサービスを提供できるようにするため。

2. 事業内容

市内の介護施設等に介護職員として新たに就職した者に対して補助金を交付する。
 対象者:新たに市内の介護施設に就職し、2年以上継続する見込みのある者
 補助金額・・・(市内に住所を有する者) 常勤職員で転入者 20万円・常勤職員で転入者以外 10万円・非常勤職員で転入者 10万円・非常勤職員で転入者以外 5万円
 (市外に住所を有する者) 常勤職員で有資格者 10万円・非常勤職員で有資格者 5万円・常勤職員で無資格者 5万円・非常勤職員で無資格者 25千円
 (資格取得) 10万円を上限としてかかった経費とする(一人1回限り)

3. 全体計画	事業期間	令和 3 年度	～	令和 4 年度	事業費(千円)	5,000
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容			市内介護施設等に新たに就職した者に補助金を交付する	市内介護施設等に新たに就職した者に補助金を交付する	2,000	3,000
事業費(単位:千円)	補助率					
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他(保険者機能強化推進交付金)				2,000	3,000
一般財源						

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)
内 容	補助 単独
負担金、補助金及び交付金 (市内に住所を有する者) 常勤職員で転入者 20万円×2名	400
【今回追加補正】20万円×3名	600
常勤職員で転入者以外 10万円×2名	200
【今回追加補正】10万円×2名	200
非常勤職員で転入者 10万円×3名	300
【今回追加補正】10万円×1名	100
非常勤職員で転入者以外 5万円×1名	50
【今回追加補正】5万円×2名	100
(市外に住所を有する者) 常勤職員で有資格者 10万円×2名	200
【今回追加補正】10万円×1名	100
常勤職員で無資格者 5万円×1名	50
【今回追加補正】5万円×1名	50
非常勤職員で有資格者 5万円×1名	50
【今回追加補正】5万円×1名	50
非常勤職員で無資格者 2.5万円×2名	50
資格取得 10万円を上限とする2名	200
【今回追加補正】10万円×3名	300
計	3,000

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	1,500千円
3月(1号)補正事業費	1,500千円
(補正財源内訳) 保険者機能強化推進交付金	1,500千円
補正後事業費	3,000千円

【様式1】 **令和4年度 第1号 補正予算** 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費		項	2 児童福祉費		目	1 児童福祉総務費			事業名	放課後児童健全育成事業									
総合計画による位置づけ				基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり					政策分野		①妊娠・出産・子育て								
実施主体		市		所属部		市民福祉部		所属課		子育て未来課		予算書ページ		16		新規		継続		○	

1. 事業の目的・効果

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童に対し、放課後適切な遊び及び生活の場を提供し、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、児童の健全育成を図る。

2. 事業内容

令和4年度実施場所 五町田小学校(4クラブ)、久間小学校(2クラブ)、塩田小学校(1クラブ)
 嬉野小学校(4クラブ)、轟小学校(1クラブ)、吉田小学校(2クラブ)、大草野小学校(1クラブ)、大野原小学校(1クラブ) 計16クラブ
 ※祝祭日・日曜・お盆(8/13～8/15)及び年末年始(12/29～1/3)を除く。
 ※民営放課後児童クラブ(間接補助)(1クラブ)

3. 全体計画		事業期間	令和元年度～令和4年度				事業費(千円)	620,089
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
事業内容		放課後、保育の必要な児童の保育	放課後、保育の必要な児童の保育	放課後、保育の必要な児童の保育	放課後、保育の必要な児童の保育			
事業費(単位:千円)		補助率	134,439	140,050	151,659	193,941		
財源内訳	国庫支出金	1/3	45,715	42,371	44,602	57,091		
	県支出金	1/3	34,956	38,501	44,602	57,091		
	市債							
	ふるさと応援寄附金							
	その他		16,914	17,145	16,879	22,505		
一般財源		36,854	42,033	45,576	57,254			

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
旅費	普通旅費(8,810円)		9
需用費	消耗品費(事務用品等 33,180円) 印刷製本費(納付書等 43,599円)		78
	光熱水費(夏季休業中空調代 361,500円 専用施設2,483,500円)	2,845	
	修繕料(クラブ室修理費用 50,000円)	50	
役務費	手数料(口座振替手数料 73,700円)		74
	保険料(建物共済 66,457円)	67	
委託料	業務委託等163,877,000円, 警備231,000円, 送り4,835,950円	168,944	
備品購入費	冷蔵庫、パーテーション等	295	
負担金、補助及び交付金	(補助金)民営放課後児童クラブ(間接補助)	16,431	
【今回追加補正】			
委託料	放課後児童支援員等処遇改善分 4,620,000円	4,620	
負担金、補助及び交付金	(補助金)放課後児童支援員等処遇改善分 528,000円	528	
計		193,780	161

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	188,793千円
第1号補正事業費	5,148千円
(補正財源内訳) 国庫支出金	1,716千円
県支出金	1,716千円
一般財源	1,716千円
補正後事業費	193,941千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	子育てファミリー・サポート事業				
総合計画による位置づけ			基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	①妊娠・出産・子育て			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	予算書ページ	16	新規		継続	○	

1. 事業の目的・効果

保育所等を利用しない家庭において、一時的に家庭での保育が困難になった場合に児童を預けられたり保育所や放課後児童クラブ等の開所時間を超えた保育需要に応えることができ、安心して子育てができる。

2. 事業内容

①地域子育て支援センター(嬉野庁舎内)にファミリー・サポート・センターを設置し、専属のコーディネーターが「子育ての手助けをしてほしい人(お願い会員)」と「子育ての手助けをしたい人(まかせて会員)」との連絡調整を行い、既存の子育てサービスでは対応できない一時的な預かりや送迎を行う。
②「まかせて会員」養成講座や資質の向上のためのフォローアップ研修を行い、会員登録の促進に努める。

3. 全体計画		事業期間	令和元年度	～	令和4年度	事業費(千円)	16,183
実施年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容			子育てファミリー・サポート事業	子育てファミリー・サポート事業	子育てファミリー・サポート事業	子育てファミリー・サポート事業	
事業費(単位:千円)		補助率	2,999	3,422	5,233	4,529	
財源内訳	国庫支出金	1/3	933	933	933	1,433	
	県支出金	1/3	933	933	933	1,433	
	市債						
	ふるさと応援寄附金						
	その他						
一般財源			1,133	1,556	3,367	1,663	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
報酬	会計年度任用職員1人:142,916円×12月=1,714,992円	1,715	
職員手当等	会計年度任用職員1人:142,916円×2.4月=342,999円	343	
共済費	会計年度任用職員1人:(社会保険料 328,383円 雇用保険22,875円)	352	
報償費	サポーター養成講座・講習会講師謝礼:62,000円サポーター謝金(無料利用券分含む):798,290円	861	
旅費	費用弁償:1,800円×12月=21,600円	22	
需用費	消耗品費:180,000円(事務用品・交流会用品・養成講座諸経費)	220	36
	食料費:36,000円(ファミサポ交流会等) 印刷製本費:40,000円(PR用チラシ)		
役務費	通信運搬費126,100円(後納郵便料・携帯電話通話料)	474	
	保険料:346,700円		
委託料	就業対策支援事業(子育て支援分)	1	
使用料及び賃借料	交流会用品借上料:6,000円(着ぐるみ借用料)	6	
	【今回追加補正】		
	就業対策支援事業(子育て支援分) 499,000円	499	
	計	4,493	36

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	4,030千円
第1号補正事業費	499千円
(補正財源内訳) 国庫支出金	102千円
県支出金	102千円
一般財源	295千円
補正後事業費	4,529千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 1 児童福祉総務費	事業名	施設型給付費
総合計画による位置づけ				基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり
				政策分野	①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課
				予算書ページ	16
					新規
					継続
					○

1. 事業の目的・効果

小学校以降の教育の基礎を作るための幼児期の教育を行う施設、就労などのため家庭での保育ができない保護者に代わって保育する施設、教育と保育を一体的に行う施設を支援するとともに、入所児童の福祉の向上を図る。

2. 事業内容

保育所、認定こども園、幼稚園に対し運営経費として施設型給付費、地域型保育給付費を支弁する。
(認可保育所8園、幼保連携型認定こども園4園、新制度幼稚園1園、小規模保育所1園 等)

3. 全体計画		事業期間	令和 元 年度	～ 令和 4 年度	事業費(千円)	4,534,851
実施年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容			特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁	特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁	特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁	特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁
事業費(単位:千円)	補助率		1,052,660	1,135,705	1,125,759	1,220,727
財源内訳						
国庫支出金	1/2	468,609	543,023	545,670	597,409	
県支出金	1/4	216,286	251,793	249,505	270,597	
市債						
ふるさと応援寄附金						
その他(負担金)		91,622	52,786	43,265	43,426	
一般財源		276,143	288,103	287,319	309,295	

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	1,195,288千円
第1号補正事業費	25,439千円
(補正財源内訳) 国庫支出金	12,718千円
県支出金	6,359千円
一般財源	6,362千円
補正後事業費	1,220,727千円

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
旅費	普通旅費11,220円 (保育料徴収)		12
需用費	消耗品費80,703円、印刷製本費83,595円		165
役員費	通信運搬費155,400円、手数料270,820円		427
委託料	保育所(施設型給付費) 721,704,680円	721,705	
負担金, 補助及び交付金	認定こども園(施設型給付費) 397,178,320円	472,979	
	幼稚園(施設型給付費) 32,081,960円		
	小規模保育所(地域型保育給付費) 43,717,360円		
	【今回追加補正】		
委託料	保育所(保育士・幼稚園教諭等処遇改善分) 14,676,540円	14,677	
負担金, 補助及び交付金	認定こども園(保育士・幼稚園教諭等処遇改善分) 9,044,700円	9,045	
	幼稚園(保育士・幼稚園教諭等処遇改善分) 1,020,420円	1,021	
	小規模保育所(保育士・幼稚園教諭等処遇改善分) 695,400円	696	
	計	1,220,123	604

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			ともに支え笑顔あふれるまちづくり		政策分野	①妊娠・出産・子育て		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	予算書ページ	16	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く、放課後児童支援員や補助員等の処遇の改善を図る。

2. 事業内容

【事業内容】放課後児童支援員や補助員等の放課後児童クラブで働く職員の処遇の改善を図る。

【補助割合】保育士等処遇改善臨時特例交付金 国(10/10)

3. 全体計画		事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	7,392
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容				放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業	放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業
事業費(単位:千円)		補助率		1,584	5,808
国庫支出金		10/10		1,584	5,808
財源内訳	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他				
一般財源					

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
委託料	16クラブ	5,280	
負担金,補助及び交付金	(補助金) 民営放課後児童クラブ 1クラブ	528	
計		5,808	

5. その他参考となる事項

(歳出)
委託料

11,000円×80人×6月=5,280,000円

負担金,補助及び交付金

民営放課後児童クラブ
11,000円×8人×6月=528,000円

合計 5,808,000円

(歳入)

保育士等処遇改善臨時特例交付金 国(10/10)
5,808,000円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	①妊娠・出産・子育て			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	予算書ページ	16	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く、幼稚園、保育所、認定こども園及び地域型保育事業所等における保育士、幼稚園教諭及び保育教諭等の処遇の改善を図る。

2. 事業内容

【事業内容】保育士や幼稚園教諭等を対象に賃金改善を行う保育所や幼稚園等に対して賃金改善部分の補助を行う。

【補助割合】保育士等処遇改善臨時特例交付金 国(10/10)

3. 全体計画		事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	31,642
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容				保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業
事業費(単位:千円)		補助率		6,204	25,438
国庫支出金		10/10		6,204	25,437
財源内訳	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他				
一般財源					1

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金、補助及び交付金 (補助金)			
保育所8園、認定こども園4園、幼稚園1園、小規模1園		25,438	
計		25,438	

5. その他参考となる事項

(歳出)

負担金、補助及び交付金

嬉野りすの森保育園	1,852,320 円
みのり保育園	1,608,240 円
久間子守保育園	1,777,860 円
たちばな保育園	1,774,680 円
井手川内保育園	1,965,120 円
岩屋保育園	1,880,880 円
下宿保育園	1,852,320 円
吉田保育園	1,965,120 円

(歳入)

保育士等処遇改善臨時特例交付金 国(10/10)

25,437,000円

ルンビニこども園	2,240,760 円
嬉野ルンビニこども園	2,404,560 円
嬉野幼稚園	2,503,560 円
和光幼稚園	1,895,820 円
塩田幼稚園	1,020,420 円
うれしのつばみ保育園	695,400 円
合計	25,437,060 円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童手当費	事業名	子育て世帯への臨時特別給付金(所得超過者)			
総合計画による位置づけ			基本方針			ともに支え笑顔あふれるまちづくり		政策分野	①妊娠・出産・子育て		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	予算書ページ	16	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響により苦しんでいる子育て世帯を支援する観点から、令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金で所得制限限度額を超過し支給対象外となった18歳までの子どもがいる世帯に対し、臨時特別給付金を支給することにより、子育て世帯に対する適切な配慮を行う。

2. 事業内容

【事業内容】新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響により苦しんでいる子育て世帯を支援するため、所得限度額を超過し支給対象外となった18歳までの子どもがいる世帯に対し臨時特別給付金を支給する。
【給付額】対象児童1人につき10万円
【対象児童】平成15年4月2日から令和4年3月31日までに生まれた子ども(0～18歳)
【支給対象者】対象児童を養育する者(所得制限限度額超過者のみ)

3. 全体計画	事業期間	令和4年度	～	令和4年度	事業費(千円)	18,030
	実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	事業内容				子育て世帯への臨時特別給付金(所得超過者)	
	事業費(単位:千円)	補助率				18,030
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	地方創生臨時交付金	定額				16,200
	一般財源					1,830

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内 容	補助	単独
需用費	5	
役務費	25	
扶助費	18,000	
計	18,030	

5. その他参考となる事項

(歳入)
地方創生臨時交付金(新型コロナウイルス感染症対応)(定額) 16,200千円

(歳出)
扶助費
(対象者)180人(中学生以下 109人 + 高校生等 71人)×100千円=18,000千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	うれしのブランド野菜づくり事業					
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業			
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課			予算書ページ	20	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

農業の担い手である認定農業者や、未来の担い手として期待される新規就農者等をはじめとする嬉野市の農業者が、稼ぐ農業を実践するための環境整備及び新たな産地育成を行い、もって嬉野市の農業の魅力を高めていくために組織された団体に対する補助

2. 事業内容

うれしの産野菜等のブランド化のために必要な視察研修、苗代、資材等に要する経費

3. 全体計画	事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 年度		事業費(千円)	626
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容			うれしのブランド野菜づくり事業	うれしのブランド野菜づくり事業	
事業費(単位:千円)	補助率		313	313	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金		300		
	その他				
一般財源			13	313	

4. 本年度の事業費内訳

内 容	予算額(単位:千円)		
	補助	単独	
旅費	(普通旅費)	1	
	【今回追加補正】肉付け予算	8	
	(費用弁償)	1	
	【今回追加補正】肉付け予算	3	
負担金、補助及び交付金	(補助金)ブランド野菜研究会への活動費補助金	1	
	【今回追加補正】肉付け予算	299	
計			313

5. その他参考となる事項

【普通旅費】1,700円×1.3×2人×2回=8,840円
 【費用弁償】1,500円×1.3×1人×2回=3,900円
 【補助金】150,000円×2団体=300,000円

当初予算事業費	3千円
第1号補正事業費	310千円
(補正財源内訳)	
一般財源	310千円
補正後事業費	313千円

【様式1】 令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	うれしの産うまかもん給食支援事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり		政策分野	①農業		
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	20	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

学校給食への地元農産物の利用を推進し、次代を担う児童・生徒の地域農林水産業に対する理解醸成及び嬉野市内産農林水産物の需要拡大を図る。

2. 事業内容

うれしの産うまかもん給食支援事業を実施する市内の学校給食センター運営協議会に対し、学校給食用食材料費の一部を負担する目的で予算の範囲内において補助金を交付し、地元農産物の利用を推進する。

3. 全体計画	事業期間	平成 19 年度 ~ 令和 年度	事業費(千円)	6,121	
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容	うれしの産うまかもん給食支援事業	うれしの産うまかもん給食支援事業	うれしの産うまかもん給食支援事業	うれしの産うまかもん給食支援事業	
事業費(単位:千円)	補助率	1,535	1,543	1,539	1,504
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金	1,500	1,500	1,500	1,000
	その他				
一般財源		35	43	39	504

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内 容	補助	単独
負担金、補助及び交付金		1
うれしの産うまかもん給食支援事業補助		
【今回追加補正】肉付け予算		1,503
計		1,504

5. その他参考となる事項

市内産材料費		
	児童・生徒数	助成費
塩田学校給食センター	756人	574,560円
嬉野学校給食センター	1,222人	928,720円
計	1,978人	1,503,280円

当初予算事業費	1千円
第1号補正事業費	1,503千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄附金	1,000千円
一般財源	503千円
補正後事業費	1,504千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費	事業名	グリーンツーリズム推進事業					
総合計画による位置づけ	基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業					
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	20	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

農山村地域での体験・交流等を目的とした農泊を行うグリーンツーリズムの振興を図り、農山村地域の所得を向上させ地域の活性化を図る。

2. 事業内容

グリーンツーリズム先進地の視察研修を実施する。

3. 全体計画		事業期間 令和元年度～令和4年度				事業費(千円)	
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容		グリーンツーリズム推進事業	グリーンツーリズム推進事業	グリーンツーリズム推進事業	グリーンツーリズム推進事業		
事業費(単位:千円)	補助率	69	69	41	69		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金						
	その他						
	一般財源	69	69	41	69		

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
旅費	視察研修費		41
負担金	資料代、体験料		28
	計		69

5. その他参考となる事項

- 1 日当 1,700円×1.1(県外)×2日×3名 = 11,220円
- 2 宿泊料 9,000円×1.1(県外)×1日×3名 = 29,700円
- 3 資料代、体験料 28,000円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	スマート農業推進事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり		政策分野	①農業		
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	20	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

農業における担い手の高齢化が急速に進み、労働力不足が深刻化している中、ロボット技術や情報通信技術 (IST) を活用したスマート農業を導入することにより、農作業における省力化・軽労化を更に進められることが出来るとともに、新規就農者の確保や栽培技術力の継承等が期待される。

2. 事業内容

嬉野市営農組合連絡協議会におけるロボット技術や情報通信技術 (ICT) を活用した先進地事例の視察及び農機具メーカーにおいて開発された技術の視察研修等、スマート農業を推進するための経費の補助。

3. 全体計画		事業期間 令和元年度～令和4年度			
		事業費(千円)			
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容		スマート農業推進事業	スマート農業推進事業	スマート農業推進事業	スマート農業推進事業
事業費(単位:千円)	補助率	190	862	452	479
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他				
一般財源		190	862	452	479

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
旅費	普通旅費		9
	費用弁償		3
負担金、補助及び交付金(補助金)			
	スマート農業推進事業		179
	スマート農業推進事業(機械導入)		288
計			479

5. その他参考となる事項

旅費 普通旅費 : 職員 1,700円 × 1.3 × 2名 × 2回 = 8,840円
費用弁償 : マイクロバス運転手 1,200円 × 2回 = 2,400円

負担金、補助及び交付金 補助金
①事業主体: 嬉野市営農組合連絡協議会
内訳 謝金: 30,000円 × 2回 = 60,000円
旅費: 県外1,650円 × 18組織 × 2名 × 2回 = 118,800円
②機械導入補助
田植え機1台 3,176,800円 ÷ 1.1 × 1/10 = 288,000円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	新規自営就農者支援事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業			
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	20	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

嬉野市に在住し、市内で新規に自営就農を行う農業者が自身の農業を開始するために必要な資材・機械や設備等の導入・整備に要する経費を補助する。

2. 事業内容

国及び県等の補助事業の対象外となる資材・機械や設備等の導入・整備等に係る経費のうち1/2以内で50万円を上限として補助する。
ただし、土地の造成又は井戸の掘削の場合は1/2以内で150万円を上限とする。
※車、パソコン等の汎用性が高いと判断できるものを除く

3. 全体計画		事業期間 令和元年度～令和4年度 事業費(千円) 15,500			
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容		新規自営就農者支援事業	新規自営就農者支援事業	新規自営就農者支援事業	新規自営就農者支援事業
事業費(単位:千円)	補助率	7,000	1,500	3,500	3,500
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金			1,500	3,000
	その他				
一般財源		7,000	1,500	2,000	500

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
補助金	井戸導入(掘削)		1,500
	農業機械導入		2,000
	計		3,500

5. その他参考となる事項

【令和4年度予定】
井戸導入(掘削) 上限 1,500,000円 1件
農業機械導入 上限 500,000円 4件

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	うれしの新農会活動推進事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり		政策分野	①農業		
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	20	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

新規就農者同士の交流を通じ、栽培技術の研鑽や経営能力の向上を図ることなどを目的に設立された「うれしの新農会」の活動資金として補助金を交付する。

2. 事業内容

「うれしの新農会」における交流会や研修会等に必要な活動資金の補助を行う。

3. 全体計画		事業期間 令和 4 年度 ～ 令和 年度				事業費(千円)
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容					うれしの新農会への活動費補助金	
事業費(単位:千円)	補助率					100
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
一般財源						100

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
補助金	うれしの新農会への活動費補助金		100
	計		100

5. その他参考となる事項

うれしの新農会 活動資金としての補助金 100,000円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	観光産業活性化事業(地域力開発プロジェクト推進事業)					
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野		④観光業	
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算書ページ	23	新規		継続	○		

1. 事業の目的・効果

観光客及び観光消費額の増大など嬉野市全体の地域活性化に繋がる事業や新たな施策の検討・実施を目的とする。
観光産業の活性化及び地域資源の磨き上げが図られ、地域力の向上に繋がる。

2. 事業内容

これまで取り組んできた「観光まちづくり」や「地域ブランドづくり」の更なる充実を支援するため、「嬉野市地域力開発プロジェクト会議」の各専門チームが実施する事業に対し、補助を行う。
補助金は、組織を統括する(一社)嬉野温泉観光協会に交付する。

3. 全体計画	事業期間		令和元年度	～	令和4年度	事業費(千円)	11,700
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
事業内容	地域力開発プロジェクト推進	地域力開発プロジェクト推進	地域力開発プロジェクト推進	地域力開発プロジェクト推進			
事業費(単位:千円)	補助率	2,700	3,000	3,000	3,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金		3,000	3,000	2,500		
	その他						
一般財源		2,700			500		

4. 本年度の事業費内訳

内 容	予算額(単位:千円)	
	補助	単独
負担金、補助及び交付金 地域力開発プロジェクト推進事業		1,500
(一社)嬉野温泉観光協会に対する補助		
【今回追加補正】		1,500
計		3,000

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	1,500千円
R4.1号補正事業費	1,500千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄附金	1,000千円
一般財源	500千円

補正後事業費 3,000千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	修学旅行誘致対策事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	④観光業			
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算書ページ	23	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

全国各地から市内宿泊の修学旅行誘致を目的とする。
市内宿泊を伴う修学旅行の誘致促進及び団体観光客の増加が図られる。

2. 事業内容

修学旅行で嬉野市内に宿泊を誘致した旅行者に対し、宿泊数に応じて補助金を交付する。

3. 全体計画		事業期間	令和元年度	～	令和4年度	事業費(千円)	1,780
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容		修学旅行誘致対策事業	修学旅行誘致対策事業	修学旅行誘致対策事業	修学旅行誘致対策事業		
事業費(単位:千円)	補助率	630	150	500	500		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金		100	300			
	その他						
	一般財源	630	50	200	500		

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金、補助及び交付金	修学旅行誘致対策事業		250
	旅行者に対する補助		
	【今回追加補正】		250
	計		500

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	250千円
R4.1号補正事業費	250千円
(補正財源内訳) 一般財源	250千円
補正後事業費	500千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	観光イベント開催事業(まつり振興事業)				
総合計画による位置づけ			基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	④観光業				
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書ページ	23	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

まつり開催により活気ある嬉野温泉を演出するとともに地域の一体感創出と活性化を目的とする。
市内での各種まつり(イベント)を支援することにより、地域住民の交流促進、産業振興及び観光客誘致促進が図られる。

2. 事業内容

各まつり実行委員会等に対し、まつり開催に必要な費用を補助する。

3. 全体計画	事業期間	令和元年度 ~ 令和4年度	事業費(千円)	11,929	
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容	まつり開催事業費補助	まつり開催事業費補助	まつり開催事業費補助	まつり開催事業費補助	
事業費(単位:千円)	補助率	3,878	1,083	3,348	3,620
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金		500	3,348	3,500
その他					
一般財源		3,878	583		120

4. 本年度の事業費内訳

内 容	予算額(単位:千円)	
	補助	単独
負担金、補助及び交付金		
まつり振興事業		1,810
各まつり実行委員会等への補助		
【今回追加補正】		1,810
計		3,620

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	1,810千円
R4.1号補正事業費	1,810千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄附金	2,000千円
一般財源	△190千円
補正後事業費	3,620千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	デスティネーションキャンペーン事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり		政策分野	④観光業		
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算書ページ	22	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

JRグループ旅客と指定された自治体、地元の観光事業者等が共同で実施する観光PR事業。
西九州新幹線嬉野温泉駅開業に合わせ周知を図り、市内観光客の増加を図る。

2. 事業内容

西九州新幹線嬉野温泉駅開業に伴いJRグループで行われるデスティネーションキャンペーン事業を効果的に行うため、特に関西都市圏・新幹線沿線を重点的に本市のキャンペーンやPR・広報活動を行い周知を図る。

3. 全体計画		事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	39,650
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容					
事業費(単位:千円)		補助率		17,455	21,095
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金			11,000	10,000
	地方創生臨時交付金			1,900	
一般財源				4,555	11,095

4. 本年度の事業費内訳

内 容		予算額(単位:千円)	
		補助	単独
旅費	当初予算		1
	【今回追加補正】1,094,000円		1,094
広告料	当初予算		1
	【今回追加補正】2,999,000円		2,999
委託料	当初予算		1
	【今回追加予算】12,999,000円		12,999
負担金・補助及び交付金			4,000
計			21,095

5. その他参考となる事項

【JRデスティネーションキャンペーン事業】

- JR大阪駅における観光・物産イベント
有田町・武雄市・嬉野市の3市町合同イベント開催
(大型ビジョンにて動画放映、特産品販売、観光PR)
- JR西日本とのタイアップ事業
関西・中国地区からの観光客誘致のため、JR西日本とのタイアップ
(交通メディア掲出、中吊りポスター等)
- 嬉野市関係者を集めた情報交換会
嬉野市関係者を集めた情報交換会 大阪市内
- 関西都市圏における情報発信
関西地区の各種媒体を活用した情報発信

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	観光戦略策定業務			
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり		政策分野	④観光業		
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算書ページ	22	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

観光業においては、コロナ禍により各施設の利用者数も制限が求められ、接客の際もより丁寧な対応が求められてきている。これまでの量を求めてきた観光の在り方から、質への転換、高付加価値な商品・サービスの提供に取り組む必要がある。旅行の多様化、個人化が一層進むことが想定され、それぞれの顧客ニーズに応じた価値の提示方法が高度化していく中で観光戦略の見直しが必要となってくる。このため、コロナ禍を機にゼロベースで考えた新たな観光戦略の策定に取り組む。

2. 事業内容

西九州新幹線嬉野温泉駅開業後の観光施策、コロナ禍のマーケティング戦略等をふまえた新たな観光戦略の策定を行う。

3. 全体計画		事業期間	令和 年度	～	令和 4 年度	事業費(千円)	8,000
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容							
事業費(単位:千円)		補助率					8,000
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金					7,000	
	その他						
一般財源						1,000	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
委託料			8,000
	計		8,000

5. その他参考となる事項

--

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	中国地方都市圏対策事業				
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり		政策分野	④観光業			
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算書ページ	22	新規	○	継続		

1. 事業の目的・効果

西九州新幹線嬉野温泉駅開業を控え、主要なエリアとなる中国地方都市圏において、主要な自治体やマスコミ等を訪問し嬉野市の情報発信に努め、市内観光客の増加を図るとともに、今後も継続的な取り組みにつながるようネットワークを構築する。

2. 事業内容

西九州新幹線嬉野温泉駅開業に伴い主要なエリアとなる中国地方において、本市のPR・広報活動を行い周知を図る。

3. 全体計画		事業期間		令和 年度 ~ 令和 4 年度				事業費(千円)	
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
事業内容									
事業費(単位:千円)		補助率				920			
財 源 内 訳	国庫支出金								
	県支出金								
	市債								
	ふるさと応援寄附金								
	その他								
一般財源						920			

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
報償費			100
旅費			200
需用費	燃料費		15
使用料及び賃借料			55
役務費	広告料		300
委託料			250
計			920

5. その他参考となる事項

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	受入態勢整備事業			
総合計画による位置づけ		基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野	④観光業			
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算書ページ	22	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

西九州新幹線嬉野温泉駅開業を前に、本市の観光資源を磨き上げ、受入態勢を整えるとともに、開業に向けた機運醸成を図る。

2. 事業内容

西九州新幹線嬉野温泉駅開業に向け、事業者や各団体が自ら創意工夫を持って取り組む事業に対して支援を行うとともに、セミナーを開催することにより、関係者のおもてなしの向上と機運醸成に努める。

3. 全体計画		事業期間	令和 年度	～	令和 4 年度	事業費(千円)
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容					委託料	
事業費(単位:千円)	補助率					5,000
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源					5,000

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
委託料	観光地磨き上げ事業		5,000
	セミナー開催・事務費		
	計		5,000

5. その他参考となる事項

【事業費内訳】

観光地磨き上げ事業 事業者 500,000円×4=2,000,000円
 団体等 1,000,000円×2=2,000,000円
 セミナー開催・事務費 1,000,000円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	地域資源活用対策事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	③商工業			
実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算書ページ	22	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

今年秋、西九州新幹線嬉野温泉駅が開業する。新幹線など高速交通網の開業直後の効果は、主に「終着地点」で高くなる。嬉野温泉駅は「通過地点」であるからこそ、降りて宿泊、滞在していただくための様々な目的や理由を用意しなければならない。嬉野市が「選ばれる」「選ばれ続ける」ために、嬉野でなくてはならない必然性づくり、地域をリードする人材育成、地域資源を活かした商品づくりと販路拡大に努める。

2. 事業内容

①「商品」をつくる。地域資源を商品化していく。②「人」をつくる。主体的に動く人材をつくる。③「しくみ」をつくる。地域経営が継続化するしくみをつくる。地域資源を活用するとき、地域内の既成概念にとらわれることなく、外部の知見を導入し、新たなアプローチを模索することが重要となる。市内の個々の事業者で高度人材を育成するのは至難の業であるため、地域全体で人材育成を行っていく。観光カリスマや大学教授に加え、地域の実践者など、日本トップレベルの講師陣を招き、魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成していく。

3. 全体計画	事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	10,000
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容			委託料	委託料
事業費(単位:千円)	補助率		5,000	5,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	ふるさと応援寄附金			
	その他			
一般財源			5,000	5,000

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内 容	補助	単独
委託料	嬉野市商工会に委託予定	5,000
	計	5,000

5. その他参考となる事項

①うれしの未来づくり塾

地域資源を商品化するとともに、主体的に動く人材を育てるために、まちづくり観光研究所や連携協定を締結する国立大学法人和歌山大学観光学部との連携により、観光カリスマや大学教授、実践者など、日本トップレベルの講師陣による人材育成講座を開催する。

②組織づくり

地域資源の活用、発展のためには、今後、組織づくりは不可欠である。

商工会・観光協会と連携し、組織づくりに努める。

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	地域商社推進事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活きみなぎるまちづくり			政策分野	③商工業			
実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算書ページ	22	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

令和3年度においては、販売システム活用事業として新たな商品開発への取り組みや省水力発電、クリーンエネルギーの研究を行った。
今年度は、新たな販売システムや地域商社とDMOとの関連づけなど組織の立ち上げを目的とする。

2. 事業内容

西洋野菜のブランド化を目的に新たな販売システムの確立を行い、商工会や本登録を目指すDMOとの組織連携を図っていく。

3. 全体計画		事業期間		令和 年度 ~ 令和 年度				事業費(千円)	
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		補助金		
事業内容									
事業費(単位:千円)		補助率					3,000		
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	市債								
	ふるさと応援寄附金						2,000		
	その他								
	一般財源						1,000		

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
補助金			3,000
	計		3,000

5. その他参考となる事項

西洋野菜の販売システム
クリーンエネルギー
商工会・DMO連携

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	地域産業活性化事業				
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	③商工業		
実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算書ページ	22	新規	○	継続		

1. 事業の目的・効果

令和3年度で展開した「うれしかード」を利用した経済活性化と市内事業所への労働力の確保を図るため、市内事業所への新規就労者に対し、「うれしかード」の配布及びポイント付与を行う。

2. 事業内容

市内経済活性化と市内事業所への労働力の確保とともに、市内事業所へ新規就労者へ市内店舗における購買意欲を喚起するため、「うれしかード」に独自のポイントを付与することにより、市内消費額の向上と市内経済活性化、市内経済循環の促進に努める。

3. 全体計画	事業期間	令和 年度	～	令和 4 年度	事業費(千円)	5,030
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	補助金	
事業内容						
事業費(単位:千円)	補助率					5,030
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
一般財源						5,030

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内	容	
補助金		5,030
	計	5,030

5. その他参考となる事項

【事業費内訳】

新規雇用者 940人×5,000円=4,700,000円
 事務費 330,000円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	新型コロナウイルス感染症緊急対策事業(経済対策支援事業)				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	③商工業				
実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算書ページ	22	新規	○	継続		

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受け、市内経済が停滞している。
 コロナ禍においても市内経済の活性化を図り経営を維持することを目的とし、国事業の有効活用や申請方法等、事業者が専門家による指導・助言を受けられるようサポート体制を整備する。

2. 事業内容

国においては、コロナの影響を受けた事業の継続・回復を支援するため、事業復活支援金を設けられている。
 支援金の申請がオンライン申請のみであることや、申請サポート会場が佐賀県内で1箇所のみであるため、申請に苦慮する事業者も想定される。
 このため、市内にサポート会場を設けることによって申請が困難な事業者の円滑な給付と利便性の向上を図る。

3. 全体計画		事業期間	令和	年度	～	令和	年度	事業費(千円)
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	委託料		
事業内容								1,500
事業費(単位:千円)	補助率							1,500
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	市債							
	ふるさと応援寄附金							
	地方創生臨時交付金 定額							1,300
	一般財源							200

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
委託料	経済対策支援事業		1,500
	計		1,500

5. その他参考となる事項

(歳入)
 地方創生臨時交付金(新型コロナウイルス感染症対応)(定額) 16,200千円

(歳出)
 委託料 30,000円/日×10日×2人 = 600,000円/回
 事務機器リース 50,000円/回
 ・年度内に2回実施
 650,000円×2回 = 1,300,000円
 事務費 200,000円
 計 1,500,000円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 茶業振興費	事業名	うれしの茶産地振興支援事業				
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり		政策分野		①農業		
実施主体		個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	予算書ページ	21	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

全国茶品評会において、産地賞受賞を契機に地元茶商を中心に、更なるブランド力の強化を進めるとともに、地元児童・生徒への茶育活動を推進し、「うれしの茶」のPRと消費拡大に取組む事業を支援する。

2. 事業内容

消費拡大イベント、大都市イベント参加、見本市、試飲会、小中学校への茶育指導等の事業を実施する。

3. 全体計画		事業期間	令和 年度	～ 令和 年度	事業費(千円)
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容		大都市イベント、見本市、試飲会等の消費拡大イベント及び小中学校への茶育活動等	大都市イベント、見本市、試飲会等の消費拡大イベント及び小中学校への茶育活動等	大都市イベント、見本市、試飲会等の消費拡大イベント及び小中学校への茶育活動等	大都市イベント、見本市、試飲会等の消費拡大イベント及び小中学校への茶育活動等
事業費(単位:千円)	補助率	3,000	3,000	3,000	3,000
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金		3,000	2,500	2,500
	その他 一般財源		3,000	500	500

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内容		補助	単独
負担金、補助及び交付金	うれしの茶産地振興支援事業		1,500
補助金	【今回追加補正】		1,500
計			3,000

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 1,500千円

R4.1号補正事業費 1,500千円

(補正財源内訳) ふるさと応援寄附金 1,000千円

一般財源 500千円

補正後事業費 3,000千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 4 茶業振興費	事業名	さが園芸生産888億円推進事業						
総合計画による位置づけ	基本方針 進化和創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業						
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	予算書ページ	21	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

革新的技術の導入による収量・品質の向上及び省エネ・省力化技術の普及を進めるとともに、農業者を育成することにより経営の安定を図る。

2. 事業内容

県単事業の制度で、農業者が組織する団体に対し、県費1/2以内、市費1/10以上を補助する事業。

3. 全体計画		事業期間 令和 年度 ~ 令和 年度			
		事業費(千円)			
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容		茶生産、加工施設・機械等整備費への補助	茶生産、加工施設・機械等整備費への補助	茶生産、加工施設・機械等整備費への補助	茶生産、加工施設・機械等整備費への補助
事業費(単位:千円)	補助率	16,077	20,491	25,778	139,957
財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金	12,778	16,687	20,621	116,624
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他				
一般財源		3,299	3,804	5,157	23,333

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
		補助	単独
内 容			
負担金、補助及び交付金	さが園芸生産888億円推進事業	69,979	
補助金	【今回追加補正】	69,978	
計		139,957	

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	69,979千円
R4.1号補正事業費	69,978千円
(補正財源内訳) 県補助金	58,312千円
一般財源	11,666千円
補正後事業費	139,957千円

【様式1】 令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 茶業振興費	事業名	農地再生支援事業					
総合計画による位置づけ							基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業	
実施主体		個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	予算書ページ	21	新規	○	継続		

1. 事業の目的・効果

茶生産者の高齢化、後継者不足や茶単価の低迷等により中山間地はもとより平地において耕作放棄地が多く見られるようになってきた。このため、耕作放棄地を伐採した後、抜根まで実施し農地の再生を行うとともに、抜根後の農地利用計画を作成し、適正な管理を行う。

2. 事業内容

耕作放棄地茶園の茶樹を伐採、抜根を実施した後、他品目への転換や自己保全管理等、土地利用計画を策定し適正な管理を行う農地に対する補助。

3. 全体計画		事業期間	令和 3 年度 ~ 令和	年度	事業費(千円)
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容				茶園耕作放棄地を整備後、転作や自己保全を行う費用への助成	茶園耕作放棄地を整備後、転作や自己保全を行う費用への助成
事業費(単位:千円)		補助率		1,000	1,000
財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他				
一般財源				1,000	1,000

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金、補助及び交付金	農地再生支援事業		500
補助金	【今回追加補正】		500
計			1,000

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	500千円
R4.1号補正事業費	500千円
(補正財源内訳)	
一般財源	500千円
補正後事業費	1,000千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 10 うれしの茶交流館費	事業名	入館者誘致促進事業
総合計画による位置づけ	基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課
予算書ページ	21	新規	継続	○	

1. 事業の目的・効果

うれしの茶交流館の体験メニューをツアーコースの一つに組み込んだ旅行者に対し体験料の一部を補助するもの。

2. 事業内容

各体験メニューの一人あたりの体験料の30%を補助する。ただし、20名以上の場合は、団体割引後の30%を補助する。

3. 全体計画		事業期間 令和 3 年度 ~ 令和 4 年度		事業費(千円)	
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容			うれしの茶交流館を旅行コースに組み込んだ旅行者に体験料の一部を補助	うれしの茶交流館を旅行コースに組み込んだ旅行者に体験料の一部を補助	
事業費(単位:千円)			459	459	
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
市債					
ふるさと応援寄附金					
その他					
一般財源			459	459	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金補助及び交付金			
補助金			459
	計		459

5. その他参考となる事項

【内訳】

淹れ方教室 300円×30%×1,100人 = 99,000円
 茶染め体験 1,500円×30%× 500人 = 225,000円
 茶摘み体験 600円×30%× 250人 = 45,000円
 釜炒り茶体験 1,000円×30%× 150人 = 45,000円
 茶摘み・釜炒り茶体験 1,500円×30%× 100人 = 45,000円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう新設改良費	事業名	市道新設改良事業				
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり		政策分野	⑦道路・交通			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課		予算書ページ	24	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

市道の 신설、道路拓幅、排水路改修を行い各種交通の安全性と渋滞の緩和を図り、また、良好な住宅環境を確保し地域生活基盤の向上を目的とする。

2. 事業内容

市道改良路線の測量設計、改良、用地買収、補償を行う。

3. 全体計画		事業期間	令和 年度	～ 令和 年度	事業費(千円)	
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容		市道改良	市道改良	市道改良	市道改良	
事業費(単位:千円)	補助率	111,755	98,724	55,090	70,000	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	95%	57,000	48,900	17,900	25,600
	ふるさと応援寄附金		18,336	30,000		
その他						
一般財源			36,419	19,824	37,190	44,400

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内容		補助	単独
委託料	用地測量、設計業務		8,050
	【今回追加補正】骨格予算への肉付けによる		8,050
工事請負費	道路改良工事		23,300
	【今回追加補正】骨格予算への肉付けによる		23,300
公有財産購入費	用地買収		3,000
	【今回追加補正】骨格予算への肉付けによる		3,000
補償、補填及び賠償金	物件、立木、工作物等の補償		650
	【今回追加補正】骨格予算への肉付けによる		650
計			70,000

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	35,000 千円
第1号補正事業費	35,000 千円
(補正財源内訳)	
市債	13,300 千円
一般財源	21,700 千円

補正後事業費 70,000 千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう新設改良費	事業名	道路メンテナンス事業(橋りょう補修整備)					
総合計画による位置づけ							基本方針	自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野	⑦道路・交通	
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書ページ	24	新規		継続	○		

1. 事業の目的・効果

市が管理する橋梁等について、長寿命化及び修繕等に係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。

2. 事業内容

橋梁等の定期点検及び補修整備を行う。

3. 全体計画		事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 年度			事業費(千円)	218,568
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
事業内容		橋梁補修設計	橋梁補修設計・補修工事・定期点検	橋梁定期点検・補修工事			
事業費(単位:千円)		補助率	9,405	81,463	127,700		
財源内訳	国庫支出金	57.75%	5,197	45,885	71,725		
	市債	90%		11,900	38,300		
	ふるさと応援寄附金						
	その他						
一般財源			4,208	23,678	17,675		

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
委託料	橋梁定期点検	23,400	500
工事請負費	橋梁補修工事(橋山橋、平古場橋)		1
	【今回追加補正】骨格予算への肉付けによる	100,800	2,999
計		124,200	3,500

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	23,901 千円
第1号補正事業費	103,799 千円
(補正財源内訳)	国庫支出金 58,212 千円
	市債 38,300 千円
	一般財源 7,287 千円
補正後事業費	127,700 千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 9 消防費	項 1 消防費	目 5 災害対策費	事業名	社会資本整備総合交付金事業(木造住宅耐震診断派遣制度)					
総合計画による位置づけ			基本方針	自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野	③住まい		
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書ページ	27	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

嬉野市に存する民間の一戸建住宅の地震に対する安全性の向上と耐震診断の促進を図り、安全・安心なまちづくりを推進することを目的とする。

2. 事業内容

住宅の耐震診断を実施する建築物の所有者に対し、佐賀県安全住まいづくり登録サポート建築士を派遣して耐震診断に係る業務を実施する。

3. 全体計画		事業期間	平成 26 年度 ~ 令和 年度		事業費(千円)	600
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容		耐震診断(0件)	耐震診断(0件)	耐震診断(3件)	耐震診断(3件)	
事業費(単位:千円)	補助率	0	0	300	300	
財源内訳	国庫支出金	1/2		150	150	
	県支出金	1/4		75	75	
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
その他						
一般財源	1/4			75	75	

4. 本年度の事業費内訳

内 容	予算額(単位:千円)	
	補助	単独
委託料		
耐震診断士の派遣 3件	1	
【今回追加補正】骨格予算への肉付けによる	299	
計	300	

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	1 千円
第1号補正事業費	299 千円
(補正財源内訳)	
国庫支出金	149 千円
県支出金	75 千円
一般財源	75 千円
補正後事業費	300 千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	塩田地区デマンド交通実証運行業務			
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり		政策分野	⑦道路・交通		
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課		予算書ページ	13	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

廃止代替バス路線である上久間線の利用低迷を受け、同路線を含め周辺の公共交通空白地域への対応も念頭に塩田地区全体を対象としたデマンド交通の検討・実証を行う。

2. 事業内容

令和3年度に策定した「嬉野市地域公共交通計画」に基づき、需要に応じたサービス水準の適正化を図る。特に利用が低迷する乗合タクシー上久間線を含めた塩田地区全体を対象としたデマンド交通の実証を行い需要に合わせた運行形態へ見直し公共交通の網羅性向上を図る。

3. 全体計画		事業期間 令和 4 年度 ～ 令和 年度				事業費(千円)
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容						
事業費(単位:千円)		補助率				2,000
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
一般財源						2,000

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
委託料	塩田地区デマンド交通実証運行業務		2,000
	普通タクシー車両 1台、8時間/日、週2日稼働		
	実証運行期間 1か月程度		
	計		2,000

5. その他参考となる事項

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	未来技術社会実装事業				
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり		政策分野	①新幹線駅周辺まちづくり			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課		予算書ページ	13	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

本年9月に開業する新幹線嬉野温泉駅と道の駅、さらに駅前観光文化交流施設等の新たな交流拠点誕生を契機に、未来技術（AR/VR、自動運転など）を活用した本事業に取り組むことで交流人口の拡大を図るとともにコロナ禍で低迷した既存産業の再生、新産業の創出による地域課題の解決を目指す。

2. 事業内容

令和3年度に応募し採択された内閣府の未来技術社会実装事業は、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術の実装による新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から革新的で先導性と横展開可能性に優れた提案について、各種交付金、補助金等の支援に加え、社会実装に向けた現地支援体制を構築し、関係省庁による総合的な支援を受け行っていく事業である。本年9月の新幹線開業を好機と捉え、未来技術を活用した観光産業の復興及び未来技術による新産業を創出し、コロナ禍により地域が直面している課題解決を図っていく事業である。

3. 全体計画		事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度		事業費(千円)
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容			事前調査、内閣府への応募支援	協議会運営支援	
事業費(単位:千円)		補助率	4,488	5,291	86,000
財源内訳	国庫支出金	1/2			43,000
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
その他		4,400			
一般財源		88	5,291	43,000	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
委託料		86,000	
	計	86,000	

5. その他参考となる事項

➤未来技術社会実装事業 採択数

平成30年度 14事業
令和元年度 8事業
令和2年度 12事業
令和3年度 9事業(内1つが嬉野市)

➤嬉野市未来技術地域実装協議会(令和3年11月発足)

第一回協議会 令和3年11月19日 開催
第二回協議会 令和3年12月23日 開催

➤令和4年度 事業内容

- ①嬉野の魅力为全国・全世界に発信する環境づくり
 - ・拠点施設のサインージ・VRゴーグル等の環境設計
 - ・動画広告配信デジタルプロモーション(既存素材の選定・再編集など)及び効果検証
 - ・来訪者と生産者をオンラインで結ぶコミュニケーション環境づくり
 - ・オンラインツアー、体験ツアー作成検討
- ②来訪者の移動を支えるモビリティサービス
 - ・パーソナルモビリティの導入検討(試行含む)
 - ・自動運転サービス導入検討(交通環境調査、導入可能性調査、体験会の実施)
- ③5G技術を活用した各種データの収集・提供
 - ・データプラットフォームシステムの検討・試行
- ④協議会運営支援

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり		政策分野	①農業		
実施主体	県	所属部	建設部	所属課	農林整備課	予算書ページ	21	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

大牟田排水機場の効率的な機能確保を実施する仕組みを整備し、施設の長寿命化の観点に立った予防的な保全対策を通じ施設管理の合理化を推進する。

2. 事業内容

機能保全計画に基づき、老朽化が進む大牟田排水機場の維持補修を行う。

3. 全体計画		事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 10 年度	事業費(千円)	6,500
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容					大牟田排水機場維持補修実施設計書
事業費(単位:千円)		補助率			6,500
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他				
一般財源					6,500

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
委託料	大牟田排水機場 維持補修実施設計書		1
	【今回追加補正】 6,499,000円		6,499
計			6,500

5. その他参考となる事項

[事業内容] 基幹水利施設ストックマネジメント事業(県営)
 ※大牟田排水機場の維持補修を県営事業で実施する。

[補助率] <<国:50% 県:30% 市:20%>>
 ※市は負担金として県へ拠出するが、R4年度の実実施設計は市の100%負担となる。

[事業期間] R4年度:維持補修実施設計、R5年度:事業実施の法手続きの実施
 R6年度~R10年度:事業実施

[当該年度事業費] 大牟田排水機場 維持補修 実施設計書(単独費)
 ※骨格予算(科目存置)に対する肉付けによるもの

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	農村地域防災減災事業(ため池、ハザードマップ・劣化・地震・豪雨耐性評価)					
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業					
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課	予算書ページ	21	新規		継続	○		

1. 事業の目的・効果

総合的な防災・減災対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図り、もって災害に強い農村づくりを推進する。

2. 事業内容

防災重点ため池のハザードマップ作成および、ため池劣化・地震・豪雨耐性評価を行う。

3. 全体計画		事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 年度	事業費(千円)	148,035
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容			整備工事測量 設計2ヶ所・廃止 工事1ヶ所	工事設計1ヶ所・ 工事1ヶ所・ HM18ヶ所	設計2・工事2・ HM、劣化地震 豪雨耐性評価
事業費(単位:千円)		補助率	20,231	30,264	97,540
財 源 内 訳	国庫支出金	定額・55%	12,100	24,400	84,350
	県支出金	18%	360	1,440	3,060
	市債	90%			2,200
	ふるさと応援寄附金				
	その他	12%	3,540	960	2,040
一般財源			4,231	3,464	5,890

4. 本年度の事業費内訳

内 容		予算額(単位:千円)	
		補助	単独
委託料	五本柳ため池廃止実施設計	6,000	300
	上林ため池底樋改修実施設計	1,500	300
	【今回追加補正】※骨格予算の肉付け57,700,000円		
	ため池ハザードマップ作成業務委託	12,000	200
	ため池劣化・地震・豪雨耐性評価 業務委託	45,000	500
使用料及び賃借料	五本柳ため池廃止工事用地借上げ	400	100
工事請負費	ため池廃止工事(五本柳)	11,600	2,000
	ため池底樋改修工事(上林)	15,500	2,000
負担金、補助及び交付金	(負担金)佐賀県土地改良事業団体連合会特別賦課金		140
計		92,000	5,540

5. その他参考となる事項

[事業内容]	・ため池ハザードマップ作成業務委託 (34箇所) 補助基本額12,000千円×10/10=12,000千円	
	・ため池劣化・地震・豪雨耐性評価業務委託 (5箇所) 補助基本額45,000千円×10/10=45,000千円	
[補助率]	≪国:100%≫ ※国費は県を介しての間接補助	
	当初予算事業費	39,840千円
	R4.1号補正事業費	57,700千円
	(補正財源内訳) 県支出金	57,000千円
	一般財源	700千円
	補正後事業費	97,540千円

【様式1】 **令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書**

予算体系	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	事業名	中体連選手派遣費補助			
総合計画による位置づけ			基本方針			しなやかでたくましい「人」育むまちづくり		政策分野	①教育		
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	予算書ページ	28	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

教育振興のため、「児童生徒の運動競技の基準」に基づき、学校教育活動として、中体連大会に出場する場合に出場校の校長に対し補助することを目的とする。

2. 事業内容

中体連大会とは、学校教育団体の主催する運動競技をいい、学校教育団体とは、地区大会・佐賀県大会・九州大会及び全国大会を主催する中学校体育連盟をいう。補助対象期間は、大会開催要項に定められた期間を限度とする。補助金の交付対象となる経費は、交通費及び宿泊に要する経費とする。交通費は、鉄道賃、船賃、航空運賃及び車賃とし、最も経済的な経路及び方法により算出する。宿泊費は、1泊8,000円を限度とする。

3. 全体計画		事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 年度	事業費(千円)	6,107
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容		中体連大会出場校の校長への補助	中体連大会出場校の校長への補助	中体連大会出場校の校長への補助	中体連大会出場校の校長への補助
事業費(単位:千円)	補助率	2,495	111	1,583	1,918
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金			1,000	1,500
	その他				
一般財源		2,495	111	583	418

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金、補助及び交付金 (補助金) 中体連大会出場校への補助 959,000円			959
【今回追加補正】 肉付けによる追加			
(補助金) 中体連大会出場校への補助 959,000円			959
計			1,918

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	959千円
3月補正事業費	959千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄附金	1,500千円
一般財源	△541千円
補正後事業費	1,918千円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	事業名	非接触型自動水栓化			
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	①教育			
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	予算書ページ	29	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

接触に伴う新型コロナウイルスの感染リスクの軽減及び児童生徒の衛生面での不安を解消することで、手洗いを徹底し、学校現場での感染防止を高めることができる。

2. 事業内容

接触に伴う新型コロナウイルスの感染リスクを軽減するために、学校の手回し式の水道蛇口を非接触型の自動水栓等に切り替える。

3. 全体計画		事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	19,422
実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容				非接触型自動水栓等の設置	非接触型自動水栓等の設置
事業費(単位:千円)				12,296	7,126
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	地方創生臨時交付金			6,000	6,400
一般財源				6,296	726

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
工事請負費	非接触型自動水栓等設置(7校) 7,125,800円	7,126	
	計	7,126	

5. その他参考となる事項

非接触型自動水栓等の設置(7校) 【設置場所】トイレ及び特別教室 【種類】①自動水栓タイプ ②レバーハンドル

学校名	設置数(個)	学校名	設置数(個)
五町田小	33	轟小	47
久間小	33	吉田小	97
塩田小	43	大草野小	27
嬉野小	143	合計	423

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	事業名	非接触型自動水栓化				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野	①教育			
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	予算書ページ	30	新規		継続	○	

1. 事業の目的・効果

接触に伴う新型コロナウイルスの感染リスクの軽減及び児童生徒の衛生面での不安を解消することで、手洗いを徹底し、学校現場での感染防止を高めることができる。

2. 事業内容

接触に伴う新型コロナウイルスの感染リスクを軽減するために、学校の手回し式の水道蛇口を非接触型の自動水栓等に切り替える。

3. 全体計画	事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 4 年度	事業費(千円)	15,512
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容			非接触型自動水栓等の設置	非接触型自動水栓等の設置
事業費(単位:千円)	補助率		6,382	9,130
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	ふるさと応援寄附金			
	地方創生臨時交付金		3,000	8,200
一般財源		3,382	930	

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	補助	単独
内 容			
工事請負費	非接触型自動水栓等設置(4校) 9,130,000円	9,130	
	計	9,130	

5. その他参考となる事項

非接触型自動水栓等の設置(4校) 【設置場所】トイレ及び特別教室 【種類】①自動水栓タイプ ②レバーハンドル

学校名	設置数(個)
塩田中	134
嬉野中	144
大野原中	13
吉田中	110
合計	401

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 10 教育費	項 3 中学校費	目 1 学校管理費	事業名	ICT環境整備事業(オンライン学習環境整備)					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	①教育				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	予算書ページ	30	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供することで、生徒の学びの場を保障することができる。

2. 事業内容

インターネット環境がない家庭に対し、モバイルルーターを貸し出し、オンライン学習を実施する。

3. 全体計画	事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 年度	事業費(千円)	3,486	
	実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容				モバイルルーターの貸出しに係る経費
	事業費(単位:千円)	補助率			3,486
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	地方創生臨時交付金				1,300
	一般財源				2,186

4. 本年度の事業費内訳

内 容		予算額(単位:千円)	
		補助	単独
役務費	(通信運搬費)通信運搬費 2,006,400円		2,007
備品購入費	モバイルルーター及び契約事務手数料 80台 1,478,400円	1,479	
	計	1,479	2,007

5. その他参考となる事項

役務費(通信運搬費) 通信運搬費 1,900円×80台×12か月×1.1=2,006,400円

 備品購入費 モバイルルーター 13,800円×80台×1.1=1,214,400円
 契約事務手数料 3,000円×80台×1.1=264,000円

【様式1】

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 7 文化財費	事業名	22世紀に残す佐賀県遺産					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	③歴史・文化・芸術				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	予算書ページ	31	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

佐賀県美しい景観条例第8条の規定に基づき、県民の郷土に対する愛着を育み活力ある佐賀県の創造のため、美しい景観を有する地区又は地域を象徴する建造物を、これにまつわる物語とともに認定された佐賀県遺産について、保存活用の推進を図る。

2. 事業内容

佐賀県遺産の保存活用を図るため、建造物の修理、移築、買い取りを行おうとする場合や、地区の良好な景観の保全・形成及びその活用に資する各種活動を行う場合において、補助を行う。

3. 全体計画	事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 年度	事業費(千円)	10,000
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業内容				保存修理に対する補助
事業費(単位:千円)	補助率			10,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	1/2		5,000
	市債			
	ふるさと応援寄附金			
その他				
一般財源				5,000

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内 容	補助 単独	
負担金、補助及び交付金	修理補助 1件	1
	【今回追加補正】9,999,000円	9,999
計	10,000	

5. その他参考となる事項

志田陶磁器株式会社 修理費用	補助率(参考) 活用する補助金「22世紀に残す佐賀県遺産」支援事業費補助金	
	区分	対象経費
当初予算事業費 1千円	建造物	建造物の文化的価値又は外観(これと密接な関連を有する内部を含む。)の保存のために修理を要する費用(事務費を除く。)
今回補正事業費 9,999千円		
(補正財源内訳) 県支出金 4,999千円	地区	地区の良好な景観の保全・形成及びその活用に資する各種活動に要する経費
一般財源 5,000千円		
補正後事業費 10,000千円		予算の範囲内で経費対象の1/2以内 ただし、千円未満は切り捨て、県費とあわせて1,000万円を上限とする。
		予算の範囲内で対象経費のうち佐賀県から交付される補助金を引いた残りの額の4/5以内 ただし、千円未満は切り捨て、県費とあわせて250万円を上限とする。

【様式1】 令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 7 文化財費	事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	③歴史・文化・芸術				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	予算書ページ	31	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

嬉野市塩田津を中心とした地区の景観を保全しながら、道路、防災施設やサイン等を整備し、地域及び来訪者の利便性を高める。

2. 事業内容

国の街なみ環境整備事業(社会資本整備総合交付金事業)を活用し、塩田津を中心に消火栓の設置や道路美装工事を行う。

3. 全体計画	事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 年度	事業費(千円)	98,990	
実施年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業内容	道路美装、消火栓設置、修景補助	道路美装、消火栓設置、修景補助	道路美装、消火栓設置、修景補助	道路美装、消火栓設置	
事業費(単位:千円)	補助率	31,990	32,500	19,400	15,100
財源内訳					
国庫支出金	1/2	15,994	16,250	9,700	7,500
県支出金		0	0	0	0
市債(合併特例債)	95%	15,300	14,900		
ふるさと応援寄附金					
その他				0	
一般財源		696	1,350	9,700	7,600

4. 本年度の事業費内訳

内 容	予算額(単位:千円)	
	補助	単独
委託料	1	0
消火栓設置設計業務 2か所 1式		
【今回追加補正】1,349,000円	1,349	0
工事請負費	1	100
消火栓設置、既存防火水槽解体埋立て工事		
【今回追加補正】13,749,000円	13,649	100
計	15,000	100

5. その他参考となる事項

国庫補助事業 街なみ環境整備事業(社会資本整備総合交付金)(1/2)

当初予算事業費	2 千円
今回補正事業費	
委託料 本格消防消火栓設置 設計業務委託	1,349 千円
工事請負費 生蓮寺易操作性消火栓設置工事	1,999 千円
山下地区本格消防地下式消火栓設置工事	8,000 千円
既存防火水槽解体埋立て工事	3,650 千円
工事費端数調整	100 千円
(補正財源内訳)	
国庫支出金	7,499 千円
一般財源	7,599 千円

補正後事業費 15,100 千円